

【目標】		
○所定外労働時間の削減 平成24年度までに平成21年度対比で更に5%削減	○男性社員育児休業取得人数の増加 平成24年度末までに 男性 1人→2年間合計5人以上	○女性社員の育児休業取得後の復職率 90%以上 ○女性の働き方に関する満足度調査の実施とデータの活用 0回→年間1回

	事業名	内容	指定委員会からのコメント
評価すべき優れた点	取組全般		キッズルーム、カルチャースクール、セミナー等、社員のライフにも有益な施策を展開しており、成果を挙げている点が評価できる。
	業務の見直し事業	ネットワークの活用による業務効率化事業 等	Exlookやリモートデスクトップ等のネットワーク活用を着実に進めており、今後、他の企業への波及が期待できる。
	労働時間縮減事業	・管理職の意識改革事業(労務管理研修の実施等) ・社員一人一人の働き方を改善する研修事業(タイムマネジメント研修の実施等) 等	プロジェクト開始当初の目標をクリアしている。特に労働時間の縮減については効果を測定し、それを取組に反映したうえで目標を達成している点が評価できる。
指定委員会からのコメント			
助言・提案等	【他社への波及について】 アジェンダシステムやキッズルーム等について実施効果を数値データとして整理し、メリットのみならず、デメリットの分析も行い、それを示してほしい。また、これら取組は今後も継続し、他社への波及を進めてほしい。		
	【効果の測定・分析について】 事業の自己評価について、定性的な評価が散見される。また、取組と効果の相関関係が必ずしも明確ではない部分もある。定量的な効果測定にも早期に着手し、取組効果の「見える化」を図ってほしい。		

《注釈》	
<ul style="list-style-type: none"> ・キッズルーム…社員の子供(小学生)が長期休みの期間中(夏休み等)に社内で待機できるよう整備した部屋。 ・カルチャースクール…特技を持った社員が講師となり、終業後に行われる講座。内容はデッサンや英会話等。 ・Exlook…スマートフォンから社内のOutlookへのアクセスを可能とするシステム。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートデスクトップ…iPadから社内ネットワークへのアクセスを可能とするシステム。社外に居ながら稟議承認等が可能。 ・アジェンダシステム…会議の議事録作成や時間管理等をサポートする自社開発のシステム。参加人数を入力することでコスト計算も可能。